



芝山小だより



12月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

「伝えること」と「伝わること」

校長 寺井 俊敬

校庭の銀杏の葉が黄色く色付き、秋の深まりを感じます。朝晩はだいぶ冷えてきて、季節は秋から冬へと近づいているのを感じさせます。

11月18日(木)～20日(土)には本校体育館において展覧会が行われました。各ご家庭2名ずつの鑑賞にご協力をいただき、お陰様で密にならずに展覧会を開催することができました。まだ全てのご感想を集約しておりませんが、「一人一人のアイデアや工夫がされていて感動しました。」「別の時間帯に祖父母も見ることができて喜んでいました。」等のご感想をいただいています。

きっと各ご家庭におきましても、子供たちの展覧会の作品についてお話がされたのではないかと思います。保護者の皆様からのご意見をもとに、次回の展覧会に生かしていきたいと思っております。

さて、学校だより4月号でもお伝えしましたが、本校では、学校の教育目標を

○よく考え、それをやりぬく子

○より明るく、みんなと仲良くできる子

○そして強く、心身ともに健康な子 としています。

そして、この教育目標を達成するための一つの柱として、「言語力」の向上に重点をおいて教育活動に取り組んでいます。

具体的には、国語を中心とした各教科等の指導はもちろんのこと、日々の音読集の活用や読書指導、また俳句作り等に取り組んでいます。

今回はその取組の一つとして、6年生がフジテレビアナウンサー(海老原優香アナウンサー、大川立樹アナウンサー)による言葉の授業『あなせん』を実施いたしました。

授業の前半では、相手に伝わる話し方について、ポイントをお話しいただきました。ポイントとして、1. 伝わる声で話すこと、姿勢や発声が大事であること 2. 季節、場所、数字等、イメージしやすいように詳しく伝えること 3. 目線や身振りをつける等表現の工夫をすること 等を伺いました。

後半は、2人1組で、相手のことを知るために、取材し、まとめる取組を行いました。相手の「好きなスポーツ」「好きなアニメ」「好きな食べ物」等のテーマを自分たちで決めて、友達にインタビュー(取材)をしました。発表の時には、緊張しながらもインタビュー(取材)したことについて、好きな理由を話したり、相手に共感したり、みんな頑張って発表していました。

以前、先輩の先生から『「伝えること」と「伝わること」は違います。』とご指導をいただいたことがあります。自分では、一生懸命話し、伝えていたつもりでしたが、振り返ると相手の気持ちにならなかったのだと思います。今、子供たちの前で話すことが多くありますが、「今の話は相手に伝わっただろうか」といつも振り返ります。

子供たちは、先に述べた取組以外にも、朝の会や帰りの会で、司会をしたりスピーチをしたりする中でも、自分の考えを相手に伝える工夫をしています。また、学級会でより良い学級にするために、提案をしたり、自分の考えを述べたりして、相手に伝える工夫をしています。本校では、今後も様々な授業、活動を通して、『伝える』から『伝わる』工夫をして参ります。そして、言語力の向上を目指して教育活動に取り組んでいきたいと思っております。

展覧会の様子、話し方教室等、学校ホームページ「校長室より」に掲載しております。学校ホームページは1週間に一度程度更新していますので、ご覧いただければと思います。2学期も残り1か月となりました。保護者、地域の皆様におかれましては、今後も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

